

## 自己評価（前年度）

※「幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づく自己評価」のチェック項目を用いて自己評価しています

幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づく自己評価			
データ 分析 表	データ表		<b>データグラフ</b>
	内容	項目数	
	「乳児保育」	15	
	「3歳未満児保育」	32	
	「3歳以上児保育」	53	
	「教育保育の配慮事項」	16	
	「健康・安全」	29	
	「子育ての支援」	18	
	「職員の資質向上」	9	
計	172		
平均	4.74		
総合 評価	<p>それぞれの学年の人数が少なく、全体が定員20名という環境の中、子どもたち一人一人が安心して自分自身をだしている場面が多い。小さな喧嘩もしながら、他者と関わっている姿が見られる。小さな集団でしっかりと関わりを深め、多くの経験を重ねることが次のステップにつながっていくよう援助している。園での経験や関りが子ども自らの足で進む力となるよう、質の高い保育に努めていきたい。</p>		

項目	内容
保護者との信頼の構築	感染症や災害への取り組みを発信し、伝えていく（年2回）
地域との信頼の構築	園内研修や見学、ひろばと連携し、重層支援整備事業の知識を高め、講座を計画し、コミュニティ強化へつなげていく（年2回）
こどもの人権についての学び	こどもの人権について考える機会をもち、人的環境について意識をむけていくよう園内研修をすすめていく（年2回）